

志津地区

佐倉市地区別防災カルテ

1. 位置図



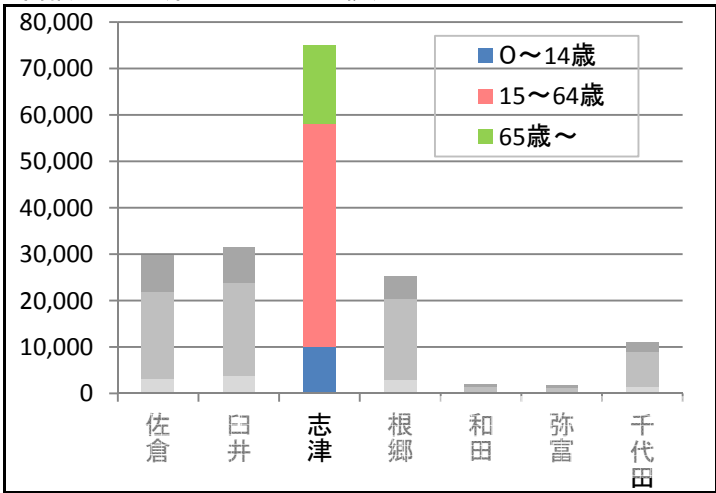
上座、小竹、小竹干拓、青菅、先崎、先崎干拓、井野、井野町、上志津、上志津原、下志津、下志津原、中志津 1～7 丁目、宮ノ台 1～6 丁目、ユーカリが丘 1～7 丁目、西志津 1～8 丁目、南ユーカリが丘、西ユーカリが丘 1～4 丁目

3. 人口指標

※平成23年12月末時点

	地区内		市全域
0歳～14歳	9,963 人	(46%)	21,643 人
15歳～64歳	48,165 人	(42%)	114,059 人
65歳～	16,911 人	(41%)	40,486 人
人口合計	75,039 人	(42%)	176,188 人
世帯数	30,183 世帯	(42%)	71,464 世帯
人口密度	4,056 人/km ²		1,701 人/km ²

年齢別人口(他地区との比較)



2. 地区の概況

【位 置】

市の西端に位置し、南北に長い地区である。北は印旛沼西部調整池を挟んで印西市に接する。印旛沼西部調整池に注ぐ鹿島川が東隣りの地区境界となっている。西は八千代市に、南は四街道市に隣接する。

【地形・地勢】

北部の印旛沼干拓地や河川沿いに低地が延びるほかは、緩やかな斜面の台地上にある。低地は水田利用が行われ、台地部は山林と畑地が広がる農村地帯であったが、京成電鉄の開通に伴い志津駅、ユーカリが丘駅周辺を中心に急速に市街化が進んだ。同時にこれを取り囲む郊外に住宅団地が次々と建設され、東京方面に通勤する新住民の転入が続いた結果、市内でも最も人口密度の高い地区となっている。駅から遠い縁辺地域は今も豊かな自然環境が保たれ、農業も営まれている。

【交 通】

鉄道は、京成本線が地区中央を東西に横断する。地区内に、東から志津駅、ユーカリが丘駅があり、1日乗降人員はそれぞれ16,339人、21,392人である。また、ユーカリが丘駅を基点に新交通システムが北部の住宅地内を運行している。道路は、国道296号（旧成田街道）がユーカリが丘駅まで京成本線と並走し、その後上座総合公園の北を迂回して臼井地区に至る。また、国道296号は志津駅の手前で県道155号に分岐し、四街道市に至る。国道296号は渋滞解消が課題となっている。

【人口・建物】

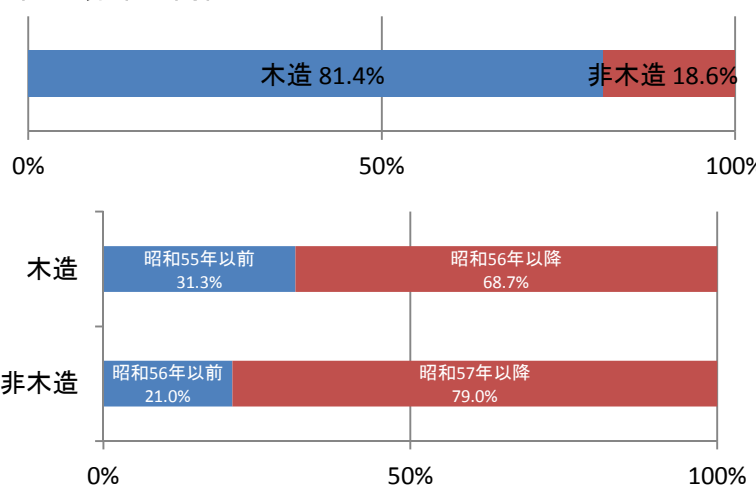
地区面積は、7地区中で2番目に大きく、人口密度は市内で一番高い。年齢別の人口分布は市全体と同様である。老年人口（65歳以上の人口）の割合は22.5%で、市平均23.0%を下回っており、老年人口の割合はそれほど大きくない地区である。建物の構造分布は、市全体と同様である。地区内の新耐震基準以前の建物の割合は、29%と市平均28%を若干上回っている。

4. 建物指標

※平成24年1月末時点

構 造	建築年	地区内	市全域
木 造	～昭和55年	5,562 棟 (38%)	14,467 棟
	昭和56～	12,217 棟 (36%)	33,376 棟
非木造	～昭和56年	856 棟 (39%)	2,175 棟
	昭和57～	3,217 棟 (38%)	8,416 棟
合 計		21,852 棟 (37%)	58,434 棟
老朽建物割合		29 %	28 %

木造・非木造割合



5. 避難施設

種 類	施設名称	屋外面積 (m ²)	屋外収容 可能人員	屋内面積 (m ²)	屋内収容 可能人員
広域避難場所・避難所	佐倉市立井野小学校	26,658	8,886	2,768	694
	佐倉市立井野中学校	24,991	8,330	2,993	704
	佐倉市立下志津小学校	10,270	3,423	2,245	558
	佐倉市立志津小学校	11,270	3,757	1,985	496
	佐倉市立志津中学校	13,331	4,444	3,201	807
	佐倉市立小竹小学校	11,819	3,940	1,884	469
	佐倉市立上志津小学校	7,825	2,608	2,159	545
	佐倉市立上志津中学校	12,569	4,190	3,309	839
	佐倉市立西志津小学校	13,067	4,356	3,216	775
	佐倉市立西志津中学校	12,894	4,298	2,620	658
	佐倉市立青菅小学校	17,020	5,673	2,148	539
	佐倉市立南志津小学校	9,975	3,325	1,887	473
	千葉県立佐倉西高等学校	20,947	6,982	4,106	1,027

6. 支部（地区連絡）

施設名	住 所	予定場所
志津出張所 志津図書館	上志津1672番地7 西志津4丁目1番2号	志津出張所内 西志津ふれあいセンター内

7. 要援護者施設

施設名			
志津わかば幼稚園	ケアホーム「シリウス」	マミーズハンドさくら	光の子保育園
さくら幼稚園	ケアホーム「リゲル」	みやのもりハローキッズ	小竹学童保育所
志津幼稚園	ケアホーム山桜	ユーカリ優都びあ	西志津学童保育所
小竹幼稚園	さくら千手園	井野学童保育所	西志津小児童クラブ
グループホームおおやま	ユーカリハウスⅠ	下志津学童保育所	南志津学童保育所
くつろぎの里	ユーカリハウスⅡ	志津児童センター	南志津保育園
ゆたか苑	ユーカリハウスⅢ	志津保育園	北志津児童センター
志津ユーカリ苑	ユーカリハウスⅣ	みくに保育園	北志津保育園
エクセレントケア志津	ユーカリワークス	佐倉市西部地域福祉センター	
ユーカリ優都苑	木の宮学園	グループホームユーカリ 優都びあ	
オリオンハウス	ハローキッズ	(学童)光の子児童センター	

8. 医療機関

施設名			
いづみこどもクリニック	安藤眼科	小林循環器クリニック	天本クリニック
かみにし内科医院	永松整形外科	小林整形外科	追川医院
さくらホームクリニック	角田皮膚科	常富内科クリニック	村上医院
さわいこどもクリニック	古谷内科	成尾医院	南ヶ丘病院
スマイルキッズクリニック	工藤外科内科	大塚内科クリニック	望月クリニック
トップヒルズクリニック	高橋レディースクリニック	大木眼科	野池皮フ科
みはま佐倉クリニック	今井整形外科	東山胃腸科外科医院	
みやけクリニック	志津クリニック	佐倉市西部保健センター	
ユーカリ眼科医院	志津中央クリニック	曙ユーカリが丘クリニック	
ゆり耳鼻咽喉科	志津南クリニック	東邦大学医療センター佐倉病院	
わだ耳鼻咽喉科医院	寺谷内科小児科医院	ユーカリが丘コアラの杜BIOクリニック	

9. 消防・警察

種 類	施設名
消防署・分署	志津消防署 志津消防署志津南出張所
消防団	第二分団
警 察	ユーカリが丘交番、京成志津駅前交番、中志津駐在所

10. 非常用給水施設

施設名	住 所
志津浄水場	上志津原59-2
上座浄水場	上座776

11. 自主防災組織

※平成25年2月末時点

組織数	加入世帯数
37	17,724

12. その他防災施設

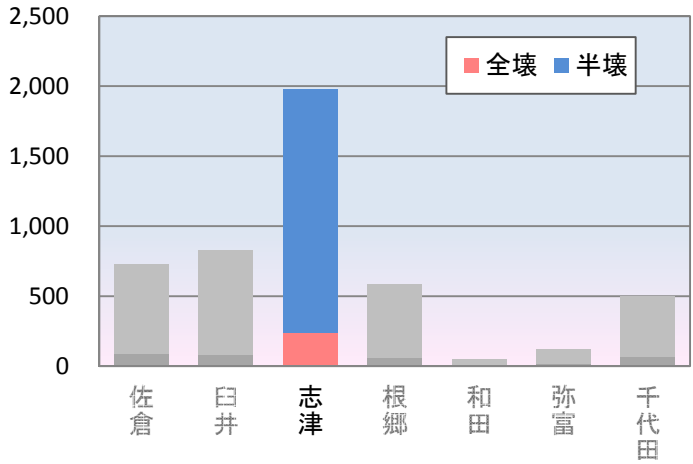
種 類	地区内	市全域
防災行政無線（同報系）	20箇所	99箇所
ヘリコプター臨時離発着場	4箇所	17箇所
消防水利	291箇所	1,033箇所
防災井戸	13箇所	42箇所

13. 各種災害被害想定結果

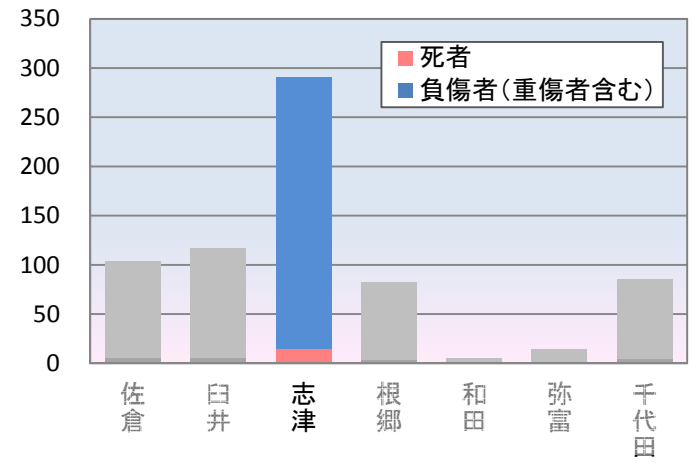
被害想定項目	被害数値 (当該地区)	被害数値 (市全域)
建物被害【全壊】	239 棟	563 棟
建物被害【半壊】	1,742 棟	4,231 棟
死者	15 人	35 人
負傷者(重傷者含む)	276 人	664 人
避難人口	14,226 人	33,006 人
避難所生活者数	9,247 人	21,454 人

※地震被害の想定地震は「東京湾北部地震(M7.3)」です。

想定される地震被害（全壊棟数・半壊棟数）



想定される人的被害（死者・負傷者(重傷者含む)）

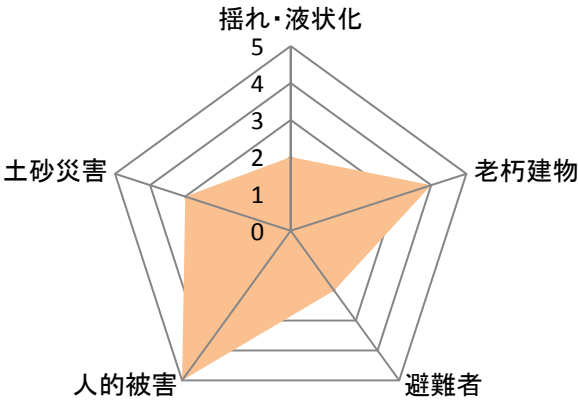


14. 土砂災害危険箇所等 ※平成25年3月時点

種類	地区内	市全域
土砂災害警戒・特別警戒区域	6箇所・6箇所	60箇所・58箇所
土砂災害危険箇所	15箇所	188箇所

15. 各種災害の評価

評価項目	数 値	危険度
揺れ・液状化による建物全半壊率	9.1%	2
老朽建物密集度 昭和55年以前の木造建物の密集度	301棟/km ²	4
避難充足率 屋内収容人数合計/避難所生活者数	93%	2
人的被害 死者・負傷者（重傷者含む）の合計	291人	5
土砂災害の影響を受ける可能性のある建物戸数	61戸	3



■表・グラフの見方

被害想定調査の主要な結果にもとづいて各項目ごとに地区の災害特性を順位付けしたものです。
「1」が災害に対して最も強く、「5」が最も弱いことを表しています。
グラフの五角形の面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

■地区の災害に対する強さ

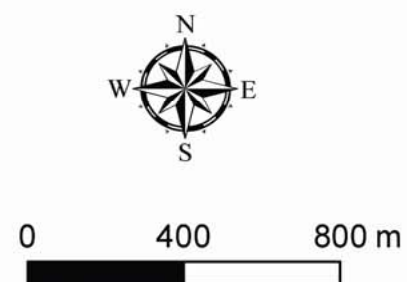
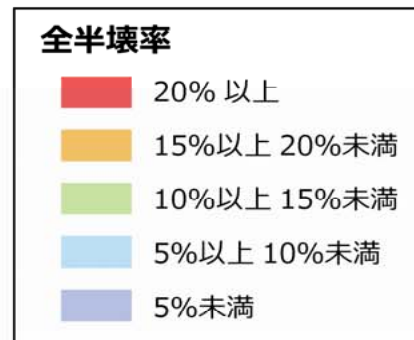


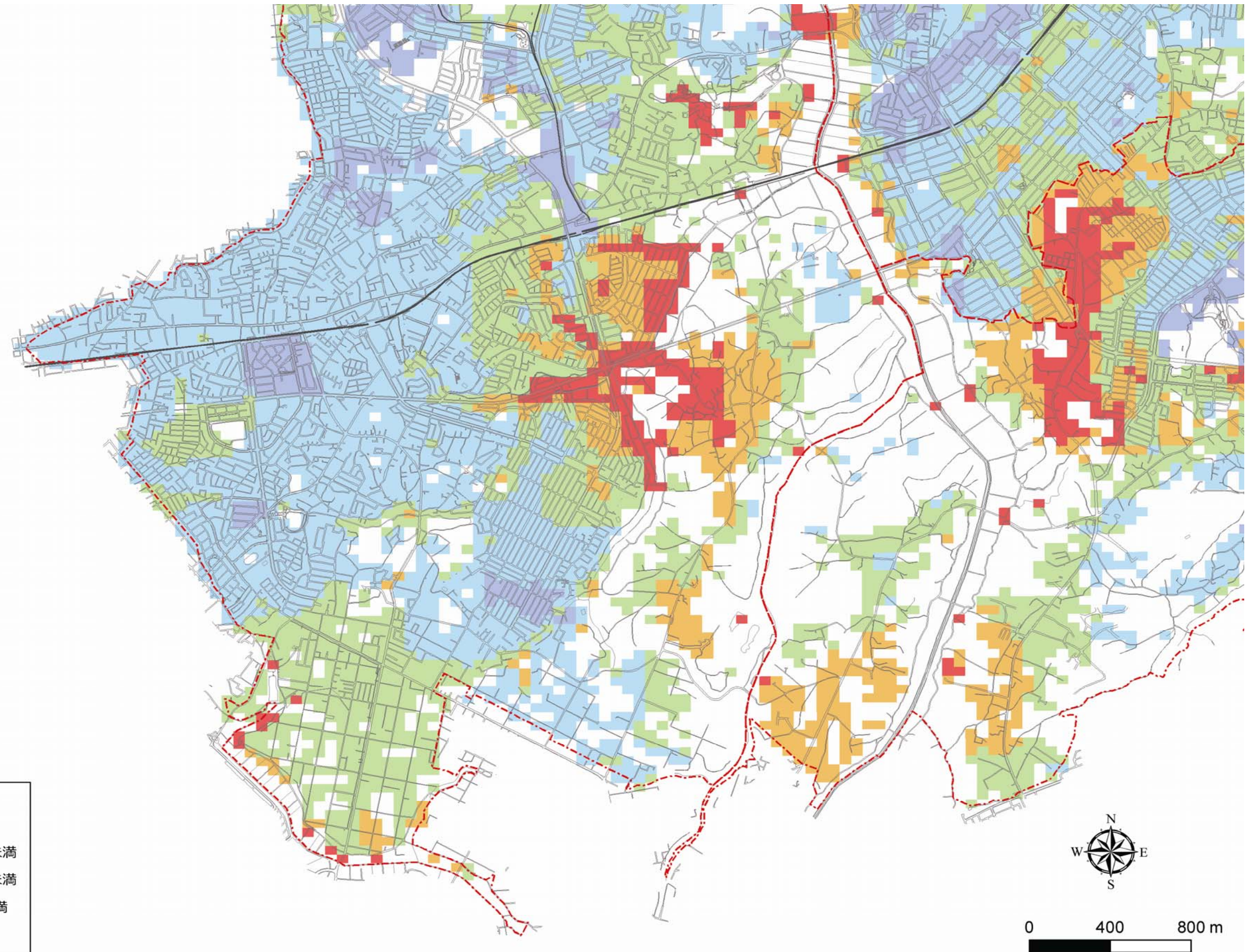
16. 防災上の課題

地震災害	東京湾北部地震が発生した場合、区域の揺れは震度5強から6弱と予測される。予測される建物全半壊率は9.1%と、市全体の割合よりも大きい。町丁目別では、中志津3丁目および下志津においてやや高い想定となっている。
土砂災害	土砂災害危険箇所等が地区内に計15箇所（うち土砂災害警戒・特別警戒区域が6箇所）指定されており、7地区中で4番多い計61戸において土砂災害の影響を受ける危険性がある。がけ地周辺の住家は大雨・長雨時の崖崩れに対して警戒が必要である。
避難環境	地区内の人口の12.3%にあたる9,247人の避難所生活者が発生すると予測される。避難施設の充足率が93%と100%を下回り、市全体の割合よりも低くなっている。さらに、本地区は北は印西市に、西は八千代市、南は四街道市と隣接しており、災害時には本地区の避難施設に市域を超えて避難してくる可能性があるほか、帰宅困難者の徒歩通過により、避難所等の対応に支障をきたす可能性がある。

17. 防災対策の方向性

既存建築物の耐震性の確保	■既存建築物の簡易耐震診断の啓発 新耐震基準以前に建築された建築物の住民・所有者に対して、簡易耐震診断を実施するように啓発する。 ■既存建築物の耐震診断・改修の補助 簡易耐震診断の結果から、必要に応じ、耐震改修費助成等による耐震診断・改修を促進する。
土砂災害に対する警戒・避難体制の整備	■崖崩れに対する警戒・早期避難体制の整備 降雨時の気象予警報・雨量情報を把握しながら、早期の警戒活動や避難勧告・指示の判断を行う体制を整備する。 ■防災マップ等による住民への周知 警戒区域周辺の住民が土砂災害の危険性を認識し、早めの自主避難を行うことができるように、防災マップ等による知識の普及・啓発を図る。
避難体制の整備	■避難支援体制の整備 災害時要援護者に対し、関係機関等と連携し、正確な情報を伝達し、優先的に避難誘導する体制を整える。 ■防災・減災意識の高揚 大規模地震災害によるり災者を抑制するためには、住宅及び地盤の耐震化が重要であることを住民に教育・啓発し、防災・減災意識の高揚を図る。 また、ライフラインの途絶等に備え、家庭での水・食料や簡易トイレ等の備蓄を促進する。





防災関連施設

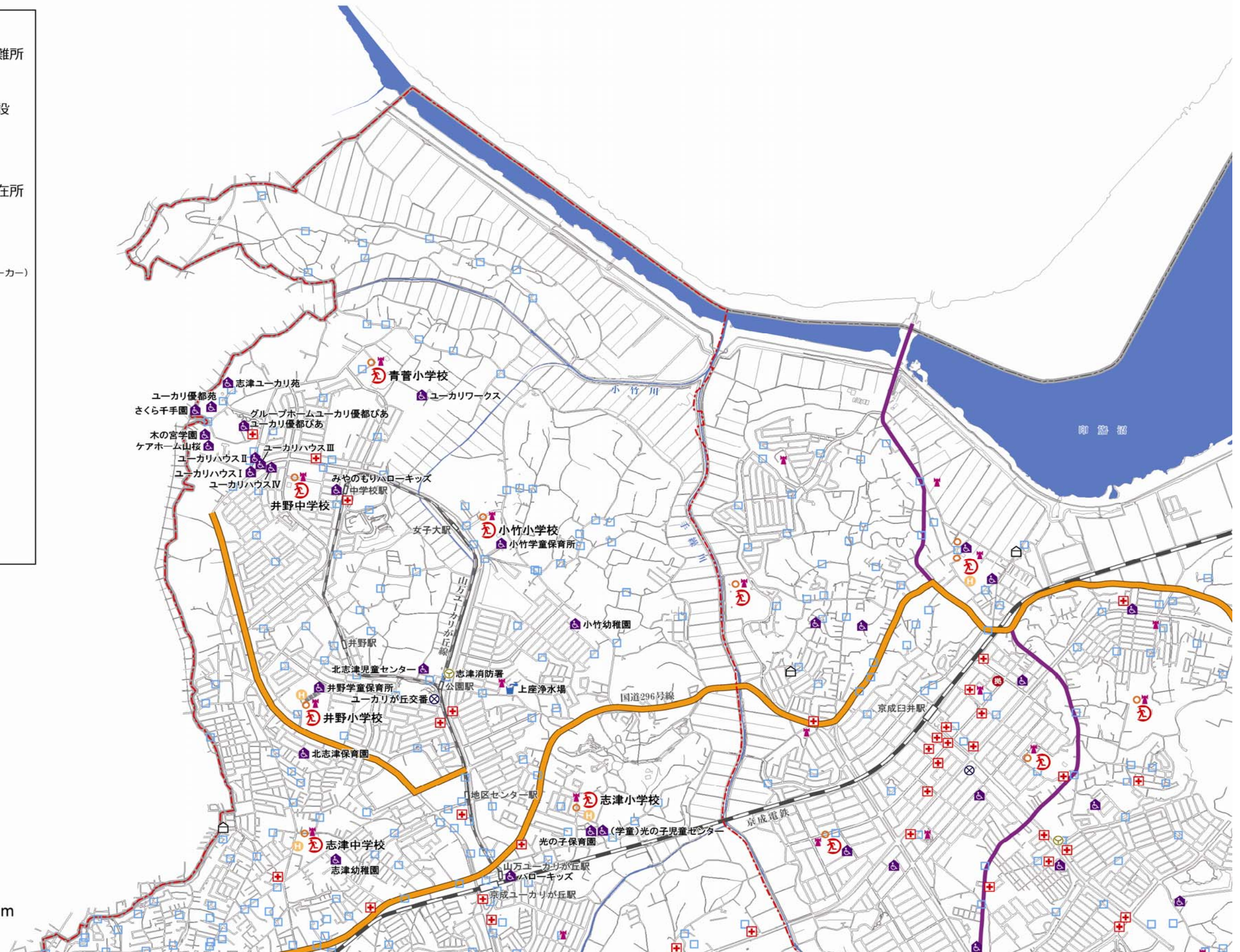
-  広域避難場所・避難所
-  支部（地区連絡）
-  災害時要援護者施設
-  市役所
-  消防署・出張所
-  警察署・交番・駐在所
-  水防倉庫
-  非常用給水施設
-  防災行政無線（スピーカー）
-  ヘリ臨時発着場
-  医療施設

消防水利

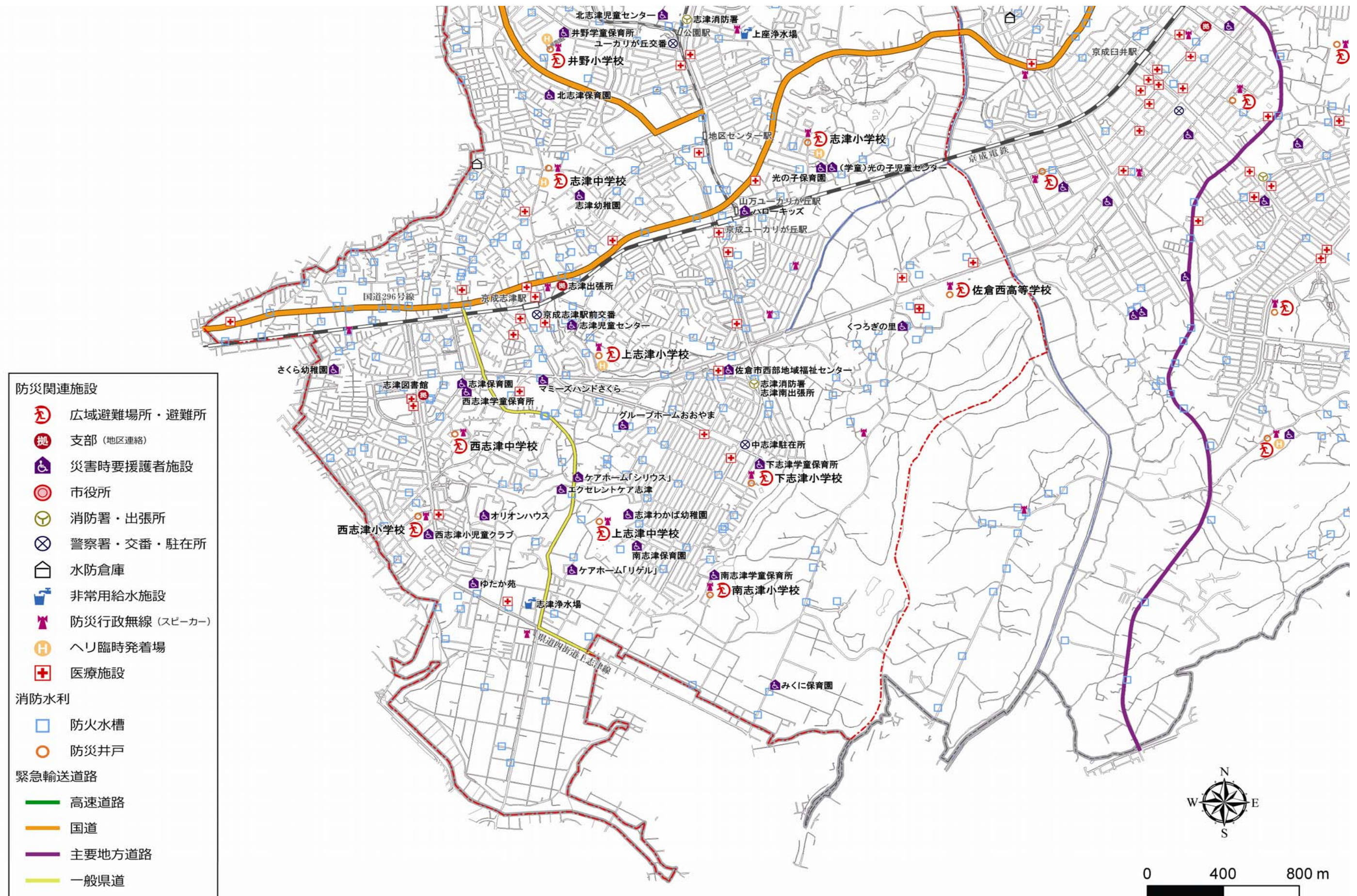
-  防火水槽
-  防災井戸

緊急輸送道路

-  高速道路
-  国道
-  主要地方道路
-  一般県道

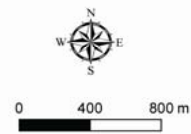


0 400 800 m



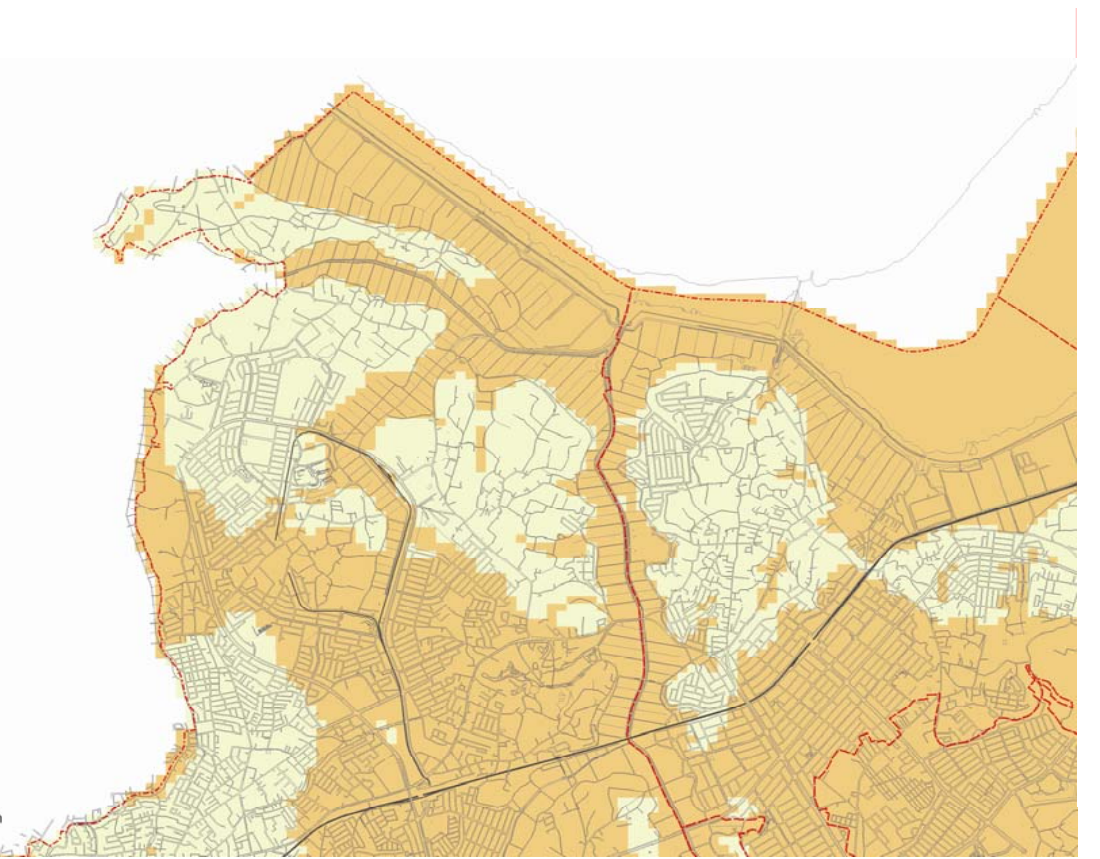
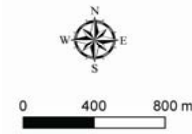
地形分類

- 地形分類
- 台地
 - 斜面
 - 凹地・浅い谷
 - 自然堤防
 - 谷底平野・氾濫平野
 - 後背湿地
 - 干拓地
 - 旧街道
 - 水辺
 - 切土地
 - 盛土地
 - 高い盛土地



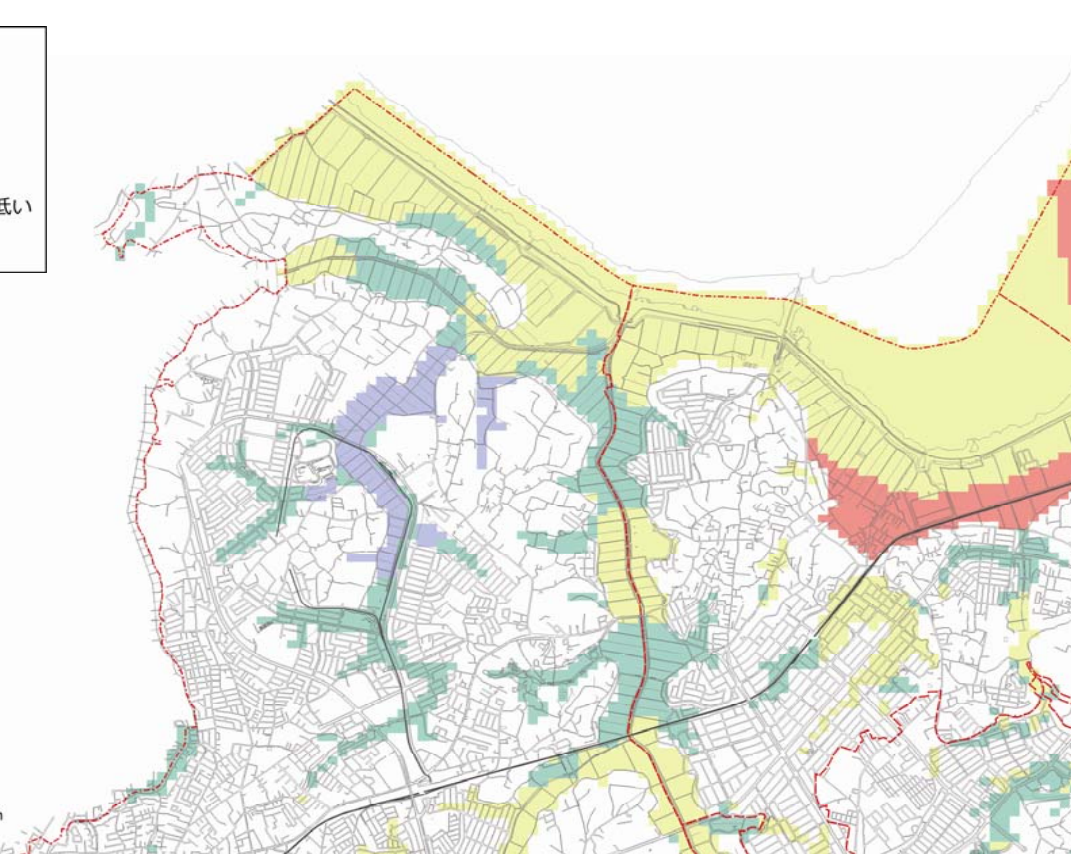
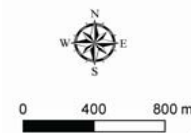
地震動危険度

- 震度階級
- 6 弱
 - 5 強



液状化危険度

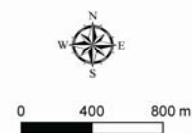
- 液状化危険度
- 可能性が高い
 - 可能性がある
 - 可能性は低い
 - 可能性は極めて低い
 - 液状化対象外



土砂災害

急傾斜地崩壊危険箇所

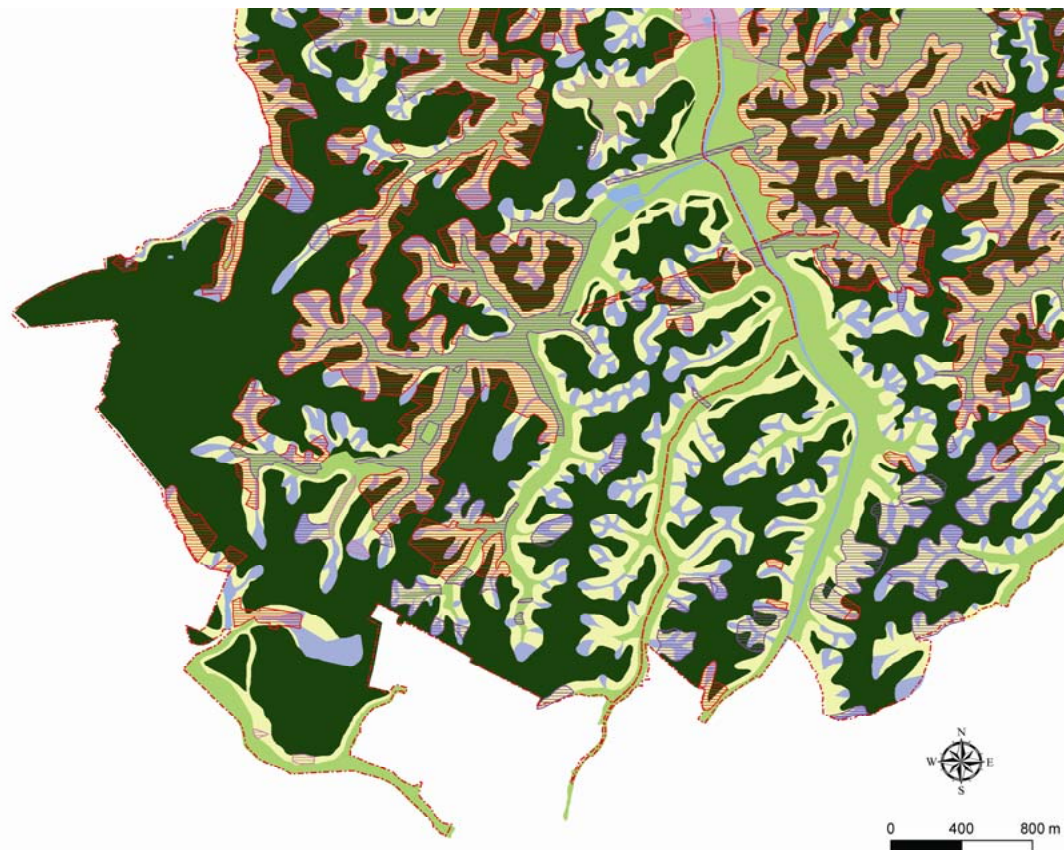
- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ
- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ
- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅲ



地形分類

地形分類

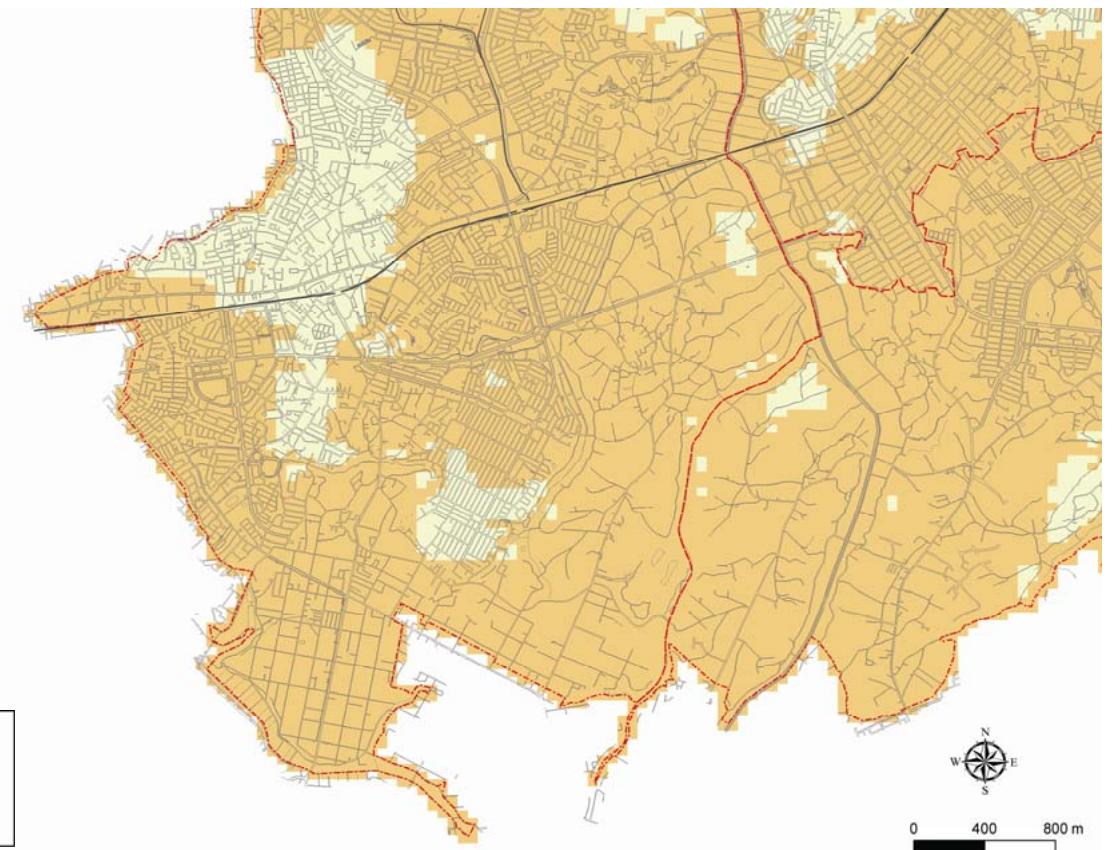
- 台地
- 斜面
- 凹地・浅い谷
- 自然堤防
- 谷底平野・氾濫平野
- 後背湿地
- 干拓地
- 旧街道
- 水辺
- 切土地
- 盛土地
- 高い盛土地



地震動危険度

震度階級

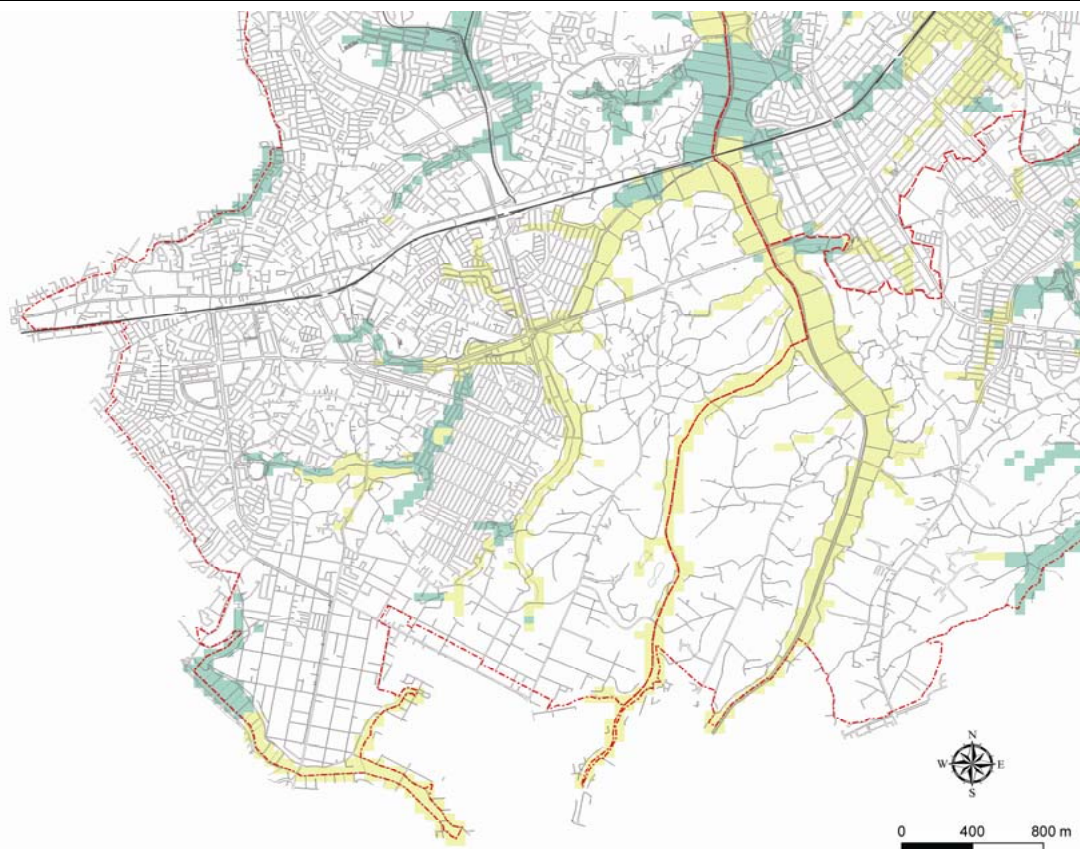
- 6 弱
- 5 強



液状化危険度

液状化危険度

- 可能性が高い
- 可能性がある
- 可能性は低い
- 可能性は極めて低い
- 液状化対象外



土砂災害

急傾斜地崩壊危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ
- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ
- 急傾斜地崩壊危険箇所Ⅲ

